

ステージアップ研修の概要

1 ステージアップ研修の位置付け

ステージアップ研修は、新規採用から主幹級昇任までの各階層別研修の間を3つの能力開発期間(ステージ)と捉え、次の職位で必要とされる知識・能力をあらかじめ取得することを目的とした研修です。

※ 次頁のフロー図を参照してください。

2 対象者と各ステージにおいて受講すべき講座数

ステージ	対象者	受講すべき講座数
ステージ1	採用後2年目以上で主任級昇任前の職員	3講座 (必修1、選択2)
ステージ2	主任級昇任後2年目以上で係長級昇任前の職員	2講座 (必修1、選択1)
ステージ3	係長級昇任後2年目以上で主幹級昇任前の職員	2講座 (必修1、選択1)

※H29年度から、ステージ2・3の対象者を昇任後2年目以上とした。

3 ステージアップ研修の実施方針

(1) 各ステージの対象職員は、それぞれ次の職位に昇任するまでに必要講座数を計画的に受講するものとします。

※ 1年間に受講できるのは1講座までとします。

※ 各ステージの必要講座数以上を受講しても、その講座数は次のステージに持ち越すことはできません。

(2) 毎年度の4月1日現在で50歳以上の職員は、ステージアップ研修の受講が免除されます(昇任にあたり受講しておくべき講座数の取得を要しない)。

(3) 昇任後、未受講(各ステージの必要講座数を満たしていない)が判明した場合は、やむを得ない事情がある場合を除き、速やかに補講を受けていただきます。